

現在の会員数 一般会員 141名 団体会員 7団体 協力会員 10名 (令和元年7月現在)

講演会の報告 (第40回会員集会)

日時：令和4年1月29日(土)13時30分～15時30分

場所：日本水道会館会議室及びWEB (Zoom)

講演：東京水道一徹しい労使対立の歴史を振り返る

講師：齋藤 博康 様

(公社) 日本水道協会特別会員



写真-1 講演中の齋藤様

講演では、最初に戦後の労働組合運動が次第に激化していく中で東京都水道局総務部労務課へ配属され、60年歩闘争において東水労のデモ隊を追って最後には国会広場へ入った時のことをお話しされました。続いて制限給水下で水道局と東水労の労使紛争となった「北一事件」を取り上げられ、交渉の経過や職員の解雇処分とその撤回闘争の裏側など当時の思いを交え語られました。加えて東水労の分裂に至る経過、検針員の適正点検業務量調査が中止されたこと、検針闘争の契機となった条件付職員不採用事件など最前線で労使交渉に当たられたことをお話しされました。そして検針闘争が労使対決の最大のヤマ場であり、その内容は、①定例日検針の遵守、②検針業務の民間委託の二点だったこと、さまざまな長期にわたる衝突や交渉がありながら民間委託の完了に至ったことなど組合の本音も交えてお話しされました。

10分間の休憩をはさみ、村山貯水池での酸欠死亡重大事故への対応、組合による根拠のないビラ攻撃、

殉職者ご遺族への対応などもお話しされました。最後に質疑を受けて、労働組合の在り方や官民連携に対するご自身のお考えを披露されました。

東京水道の現在に至る労使交渉の裏側、水道事業への思いを淡々と語られましたが、ご家族を含め心身共に想像を絶するような苦しい公務・お立場だったことと思います。大変貴重な講演をいただきました。

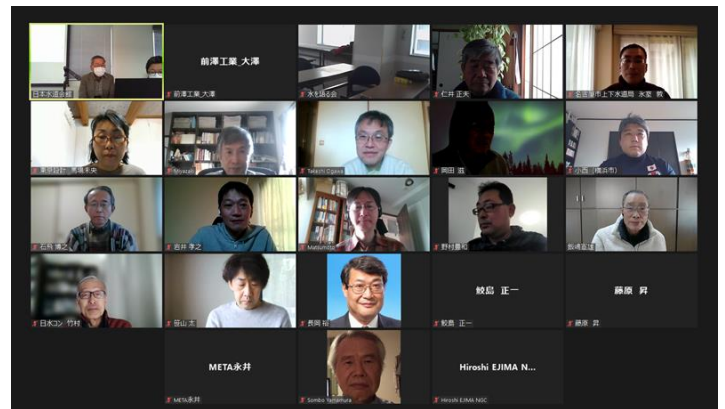


写真-2 Webで参加された会員の皆さん

定例幹事会の報告

日時：令和4年1月29日(土) 12時～12時30分

場所：日本水道会館及びWEB

議題：①次回講演会について

②次年度年会費の取り扱い

③その他

編集後記

第40回はWEB配信に加えて50名限定で現地参加可能での開催となりました。オミクロン株の爆発的な感染が広がっている中、会場では感染予防対策をとり開催しました。今後も状況を見つつ安全な形での講演会を開催していきたいと考えております。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(幹事 大澤裕志)

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。
詳しくはホームページをご覧ください。

→ <http://mizuwokatarukai.org/>